

さいたま市立東岩槻小学校 学校だより 11月号



# すわっ子だより

学校教育目標 ともに伸びる子  
かしこく ゆたかに たくましく  
令和6年10月29日(火)  
第7号 発行責任者 川添 倫義  
在籍児童数156名  
<http://higashiiwatsuki-e.saitama-city.ed.jp>

## コスモス ～調和～

校長 川添 倫義

10月2日(水)、3日(木)に、6年生と日光・湯元方面へ修学旅行に行ってきました。水・緑・空気が綺麗な日光の自然を体いっぱいを感じながらの戦場ヶ原ハイキングでの様子、東照宮の鳴龍の声にびっくりした表情、壮大な華厳の滝を眺める目、温泉から聞こえる楽しそうな声、「美味しい」と言いながら食事をする姿が見られました。文化遺産に触れ、自然を満喫し、たくさんの思い出を作ることができたと思います。

10月12日(土)は、本校を会場に東岩槻フェスティバルが開催されました。吹奏楽・太鼓の演奏・福祉体験・地震体験・スポーツフェス・フリーマーケット・キッチンカー・パンやお菓子の販売等いろいろな催しが行われました。「楽しみなんだ～」と言っていた子どもたちのウキウキ・ワクワク感でいっぱいのフェスティバルとなりました。実行委員の方々を始め、後援・協賛していただいた皆様にとって、その子どもたちの笑顔が何よりの喜びとなったのではないかと思います。

10月17日(木)には、天体観望会を行いました。天候が心配されましたが、スーパームーン(明るく綺麗な月)や土星の環をはっきりと望遠鏡で観ることができました。子どもたちも「お～」「すご～い」「きれい」と喜んでいました。宇宙の広大さ、浪漫を感じられたひと時でした。

校内ですれ違ったとき、会釈のできる児童が増えてきました。「おはようございます」「ありがとうございます」「はい」「ごめんなさい」という、さいたま市が推進する「心を潤す4つの言葉」があります。「子ども会議」で策定された「大丈夫(大丈夫?)」「自分を信じて」「ちょっとずつでいいよ」「また明日」の「心を元気にする4つの言葉」とともに、子どもたち同士でさらに伝えあえる関係性や環境を築いていければと思います。

令和7年度からさいたま市の小・中・特別支援学校では、土曜日の授業は原則として振替休業日を設定することとなりました。年間授業日数がこれまでの205日から202日となります。詳しくは今月配付いたしますさいたま市教育委員会からのお手紙や3学期(2月頃)に配付いたします本校の年間行事計画をご覧ください。これまで同様、児童と向き合う機会を大切にしながら一人ひとりと丁寧にかかわり、指導・支援の充実を図ってまいります。